

2018年12月6日 株式会社三省堂

## 今後の辞書に載るかもしれない今年の新語を三省堂が発表！ 「ばえる（映える）」 「モヤる」 「尊い」 が堂々のランクイン！

辞書のプロフェッショナルが選んだ2018年を代表するベスト10を徹底解説！

三省堂 辞書を編む人が選ぶ

### 「今年の新語 2018」

大賞

ばえる(映える)

2位

モヤる

3位

わかりみ

4位

尊い

5位

VTuber

6位

肉肉しい

7位

マイクロプラスチック

8位

寄せる

9位

スーパー台風

10位

ブラックアウト

選外

半端ないって そだねー

辞書のトップメーカーである株式会社三省堂(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:北口克彦)は、2018年12月5日に「三省堂 辞書を編む人が選ぶ『今年の新語2018』」選考発表会を実施し、2018年を代表・象徴する新語ベスト10を発表いたしました。

新語の選定にあたっては一般公募を行い、応募総数は延べ2,315通(異なり1,296語)となりました。これらの投稿などをもとに、辞書を編む専門家である選考委員が一語一語厳正に審査し、「今年の新語2018」ベスト10を選定しました。

ベスト10に選出された言葉には国語辞典のプロの手による解説(語釈)をつけて発表しました。

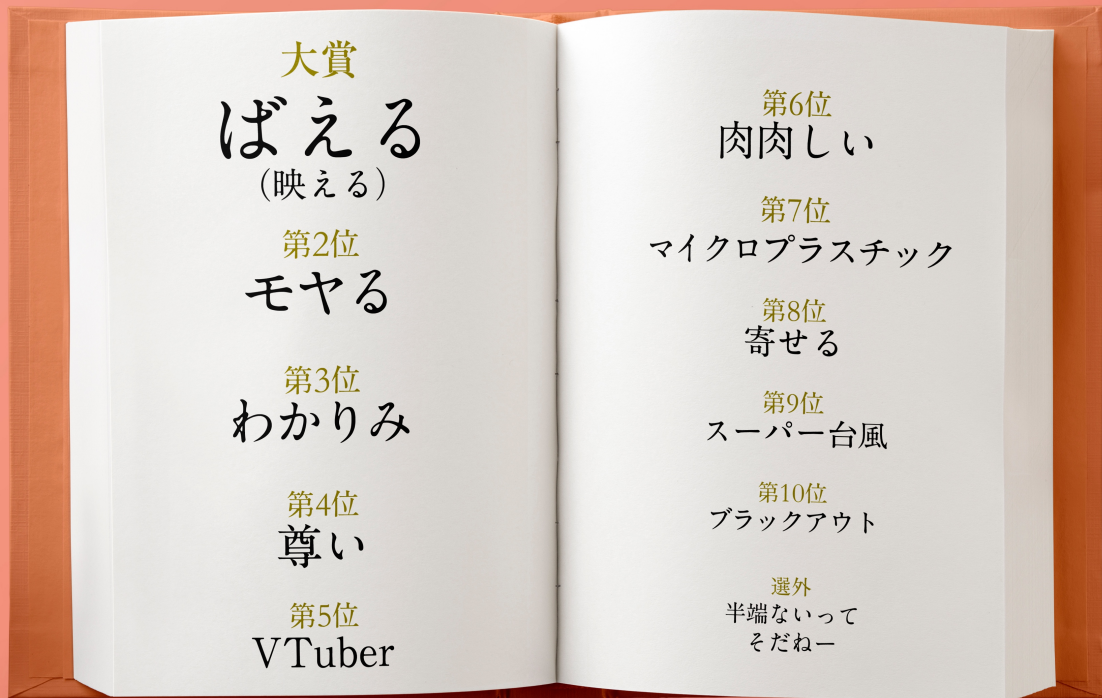
今後の辞書に掲載されてもおかしくない「今年の新語2018」の切り口と面白さを、ぜひお楽しみください。

三省堂 辞書を編む人が選ぶ「今年の新語2018」

**特設サイトにて、選考結果と日本語ネタが  
満載の選評を掲載しています。**

<https://dictionary.sanseido-publ.co.jp/topic/shingo2018/2018/best10.html>





## SNS時代の美を語る「ばえる（映える）」が大賞

2017年に惜しくも入選を逃した「インスタ映え」。その後部要素である「映(ば)え」が独立した動詞となり、「ばえる」という形で一般化するという新展開を見せました。

SNS社会での美的感覚を象徴する新語であり、また、美しく際立ったものに対してプラス評価を与える語として、日常生活で広く使われるようになりました。加えて、日本語の歴史的観点からも興味深い特徴があり、まさに2018年の大賞にふさわしい新語です。

## 2018年を物語る堂々のベスト10

2位の「モヤる」は、従来の「もやもやする」の意味から、不満、反感、怒りなども含めた、負の感情を婉曲的に表現する用法で、ここ数年急に使われるようになりました。

3位の「わかりみ」は、「つらみ」「うれしみ」などの接尾語「〇〇み」が形容詞につく場合にとどまらず、「わかりみが深い」「ラーメン食べたみが強い」「髪型の武田鉄矢みがすごい」などにも用法が拡大しつつあることから、「〇〇み」の代表選手として選出されました。

4位の「尊い」は従来の「尊敬する気持ちを引き起こす」という意味ではなく、「美しすぎて、いとおしいと思わせる」対象への最大級の賛辞として使われるようになったことが、2018年に特徴的な新しい語義とされました。

その他にも、言葉の響きの面白さに加えて、今年検索サイトのCMIにより急浮上した「肉肉しい」、百科語である「VTuber」「マイクロプラスチック」、災害が多かった2018年を物語る「スーパー台風」「ブラックアウト」、近年新しい用法が広がっている「寄せる」が選出されました。

一方、今回最も投稿数の多かった「半端ないって」は、「半端ない」が一部の国語辞典にすでに掲載されているため、惜しくも選外となりましたが、感動詞的な「〇〇って」の用法に、誰がなんと言おうとも、というニュアンスが感じられるところに新しさが見られました。次に投稿数が多かった「そだねー」は、全国的に広まったものの、単純な連語のため辞書の見出しには立ちにくく、残念ながら選外となりました。

## 三省堂の新語には、国語辞典のプロの手による解説（語釈）をつけて発表

ベスト10に選出された言葉には、実際の編者が腕をふるって国語辞典としての言葉の解説（語釈）を書きました。今後の辞書に掲載されてもおかしくない「今年の新語2018」の切り口と面白さをお楽しみください。



本格派日本語辞典の最高峰  
大辞林 第三版

**ば・える** ②(動ア下)「はえる(映)」の濁音化。「インスタ映えする」の意。景色・場面・人物・料理等が、思わず人に見せたくなるほど印象的に見える。「京都の街路にーえているファッション」

『大辞林』編集部

**ば・える** ①(△映える)「自動下」見ると、驚いたり感じ入ったりしてしまいそうな、まわりから浮き立つような雰囲気をかもし出している。「彼氏にするならーほうがいい映えない写真(＝ほかのものとは何ら変わらないつまらない写真)」「日本語の歴史では、濁音から始まる訓読みの単語は、「ざま」「だま」「ばれる」のように、よくないニュアンスを持つことが多いが、「ばえる」は、「インスタ映え」のような言い方から「ばえ」を切り出してさらに動詞化したものなので、よいニュアンスで用いられる」

『三省堂現代新国語辞典』小野正弘先生



現代の生きた日本語がわかる  
三省堂国語辞典 第七版

**ば・える** ①(△映える)「(自下)「俗)」(写真などがSNSで/SNSに投稿(トウコウ)したくなるほど)きれいで目立つ。はえる。「カフェ」(「〇〇年代末からのことば。」「SNS映(バ)えする」という表現の「ばえ」を動詞化したもの)」

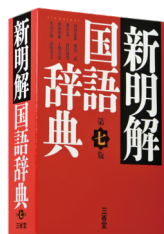
『三省堂国語辞典』飯間浩明先生



現代文・評論文を読み解くための  
三省堂現代新国語辞典 第六版

**ば・える** ②「映える」(自下)「SNSの「インスタ映え」の「映え」を動詞化したもの」写真や映像などが、ひととき引き立って△良く(おしやれに)見える。「おもにSNSで写真を投稿し合う人たちの間で用いられる語。単に目を引く映像や、映像に限らず目の前の光景を評する際にも口頭で感動詞的に用いられる」さすが、一晩ねばって撮った一枚だけあってーねえー後ろ姿がたまらない」

『新明解国語辞典』編集部



ことばの本質をとらえる  
新明解国語辞典 第七版

### ■従来の新語・流行語ランキングとの違い

三省堂が募集する「今年の新語」とは、あくまで「今年特に広まったと感じられる新語」ということで、**必ずしも「今年生まれた言葉」ではありません**。その中から、特定のジャンルやコミュニティに偏らないよう、使用者層や使用域の広がりや使用頻度の高さを考慮しつつ、**来年以降も使われてゆくであろう日本語**を辞書を編むエキスパートが慎重に選定しました。つまり、**辞書に載ってもおかしくない新語**をバランス良く認定するのが「今年の新語」です。

三省堂 辞書を編む人が選ぶ「今年の新語2018」2位以下の語釈と選評は  
<https://dictionary.sanseido-publ.co.jp/topic/shingo2018/2018/best10.html>

言葉のネタ満載の選評はWebページに掲載しています。ぜひご覧ください！



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社三省堂 営業局 販売部 販売宣伝課

Tel: 03-3230-9562 E-mail: [www-info@sanseido-publ.co.jp](mailto:www-info@sanseido-publ.co.jp)